



表彰区分	知事表彰	事務所名	益田県土整備事務所	工事名	国道191号(宇津川工区)防安交付金(法面修繕)工事第4期(補正)			
部門	土木部門	工種	道路	受注者名	(株)大谷商工	主任技術者	奥村 英司	



表彰区分	知事表彰	事務所名	益田県土整備事務所	工事名	(一) 柿木津和野停車場線 (段階施工) 防安交付金 (災害防除) 工事 (補正)			
部門	土木部門	工種	道路	受注者名	広栄建設 (株)	主任技術者	大長 浩一郎	



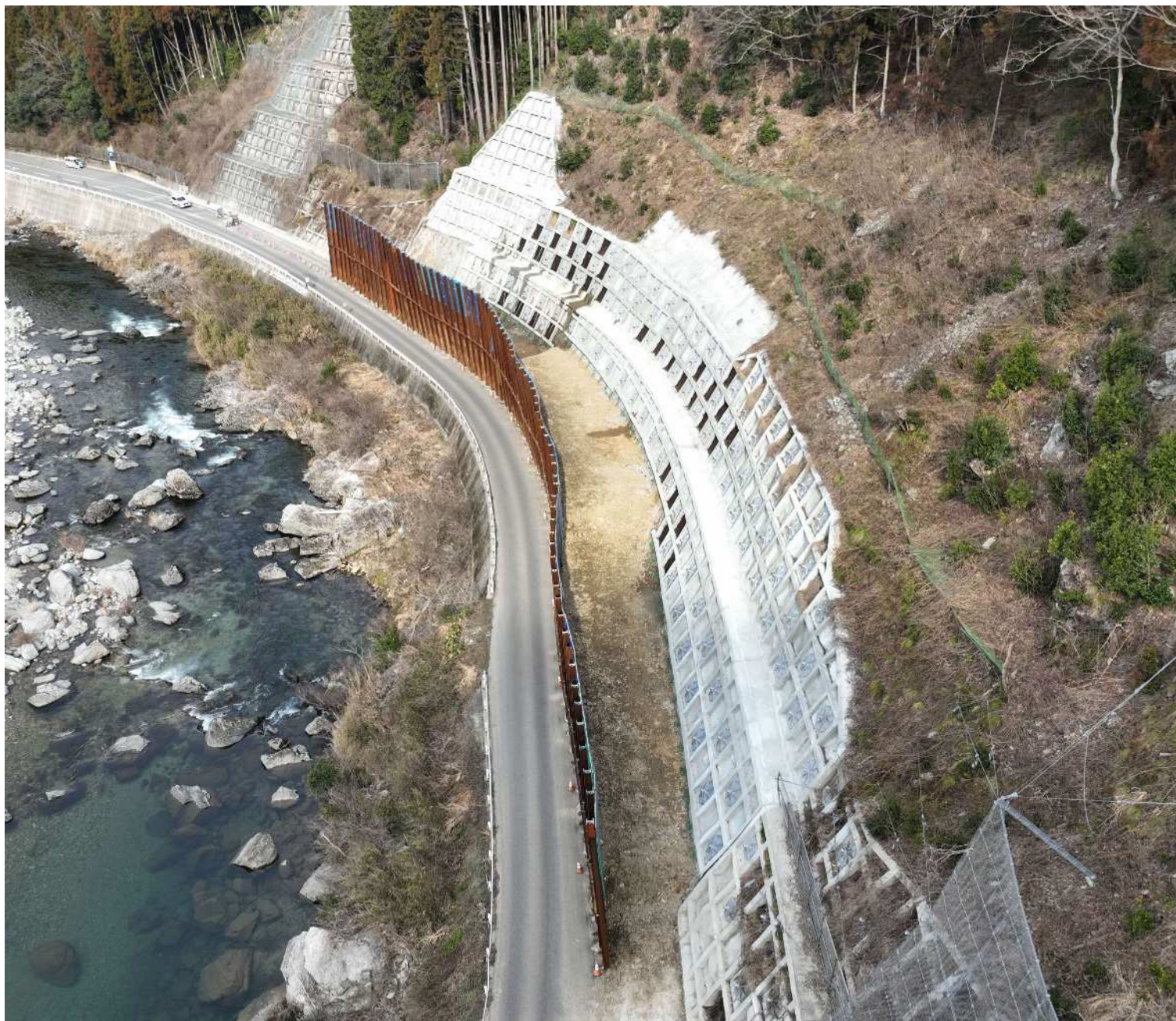
表彰区分	知事表彰	事務所名	益田県土整備事務所		工事名	小浜海岸 海岸災害復旧工事（3災第1616号）		
部門	土木部門	工種	河川	受注者名	高橋建設（株）	主任技術者	和崎 貴幸	



表彰区分	知事表彰	事務所名	益田県土整備事務所	工事名	令和2年度 赤松・神出堤地区(神出堤) ため池整備工事		
部門	農林水産部門	工種	農業土木	受注者名	(株)野村組	監理技術者	山上 雄三



表彰区分	所長表彰	事務所名	益田県土整備事務所	工事名	国道488号（澄川工区）総合交付金（改築）工事第3期			
部門	土木部門	工種	道路	受注者名	徳栄建設（株）	監理技術者	熊谷 昇	



表彰区分	所長表彰	事務所名	益田県土整備事務所	工事名	国道488号（落合工区）防安交付金（改築）工事第18期			
部門	土木部門	工種	道路	受注者名	日新建設（株）	監理技術者	中野 博幸	



表彰区分	所長表彰	事務所名	益田県土整備事務所	工事名	(主) 津和野田万川線 (部栄工区) 防安交付金 (改築) 工事 (第8期)			
部門	土木部門	工種	道路	受注者名	(有) 宗正建設	主任技術者	原田 辰也	



表彰区分	所長表彰	事務所名	益田県土整備事務所	工事名	(一) 久城インター線 (久城工区) 県単舗装整備工事		
部門	土木部門	工種	道路	受注者名	中国道路 (株)	主任技術者	村上 公斎



表彰区分	所長表彰	事務所名	益田県土整備事務所	工事名	国道191号（丸茂工区）土砂災害補助（災害防除）工事 第2期			
部門	土木部門	工種	道路	受注者名	（株）野村組		主任技術者	松本 光雄



表彰区分	所長表彰	事務所名	益田県土整備事務所	工事名	小浜海岸 防災安全交付金（高潮対策）工事			
部門	土木部門	工種	河川	受注者名	大畑建設（株）	監理技術者	和崎 広樹	



表彰区分	所長表彰	事務所名	益田県土整備事務所	工事名	益田港 防災安全交付金（港湾改修）工事 防波堤（北） 第1期			
部門	土木部門	工種	港湾空港	受注者名	大畑建設（株）	監理技術者	竹内 宏	



表彰区分	所長表彰	事務所名	益田県土整備事務所	工事名	中遠田地区 事業間連携砂防等事業（地すべり）工事 第4期
------	------	------	-----------	-----	------------------------------

部門	土木部門	工種	砂防	受注者名	島建コンサルタント（株）	主任技術者	古山 聡
----	------	----	----	------	--------------	-------	------



表彰区分	所長表彰	事務所名	益田県土整備事務所	工事名	元町人麿線 防災安全交付金(街路) 須子高架橋橋梁上部工工事		
------	------	------	-----------	-----	--------------------------------	--	--

部門	土木部門	工種	都市計画	受注者名	極東興和(株)	監理技術者	上森 実雄
----	------	----	------	------	---------	-------	-------

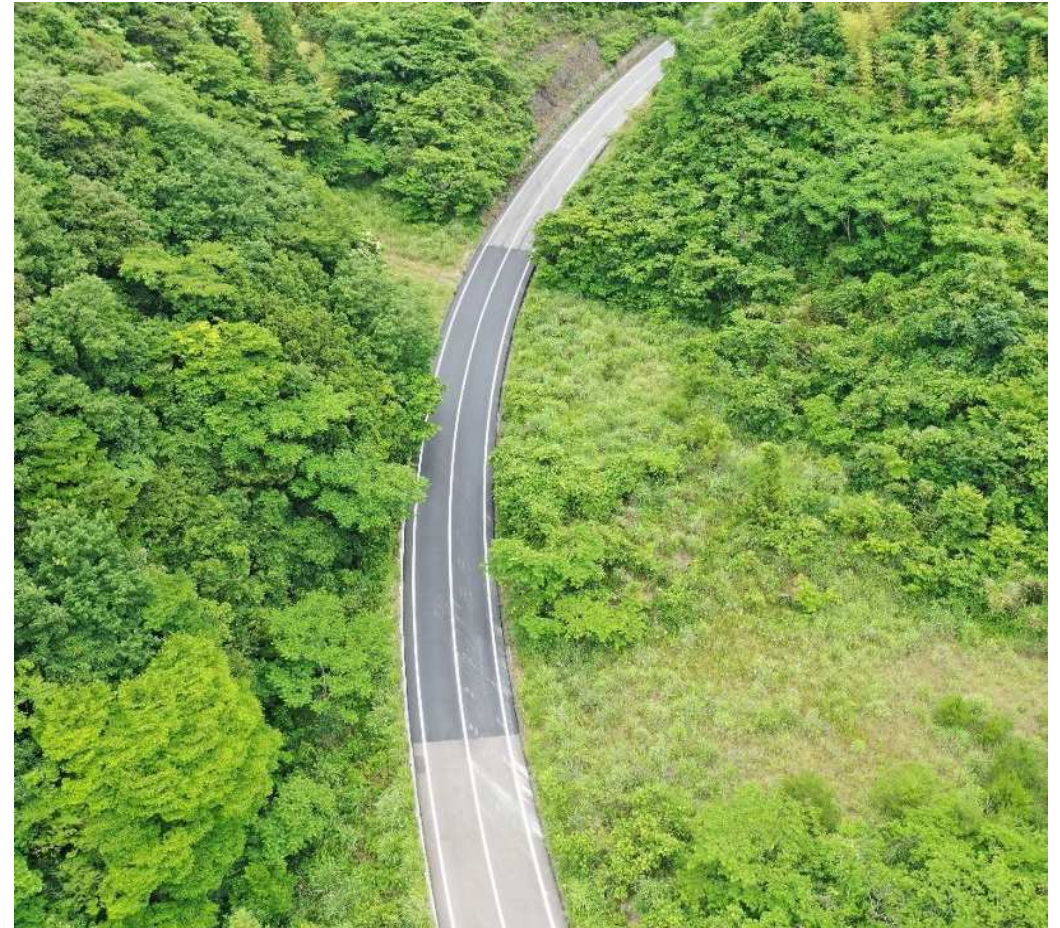
着手前



完成



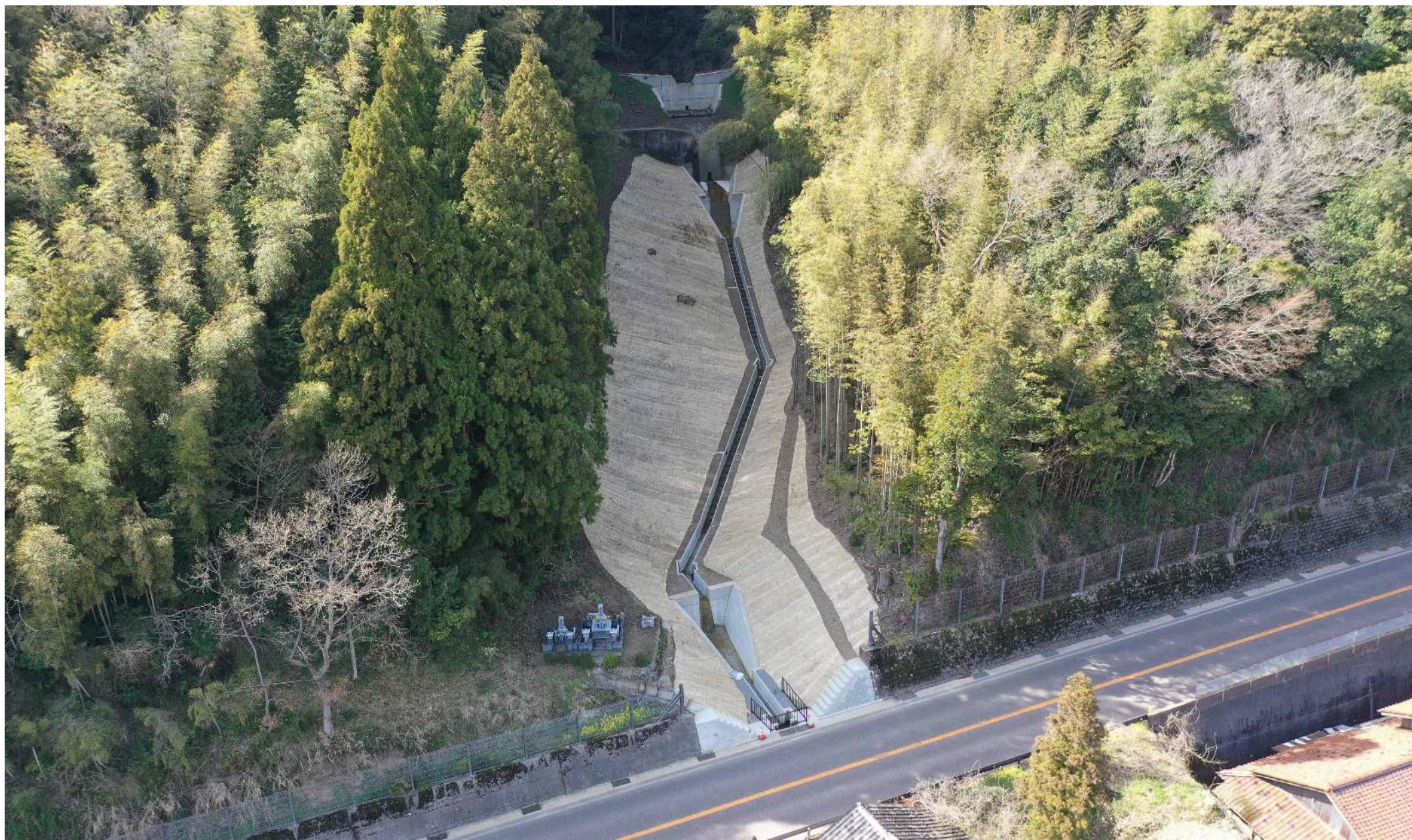
表彰区分	所長表彰	事務所名	益田県土整備事務所	工事名	令和3年度（補正）中山・長福地区区画整理工事		
部門	農林水産部門	工種	農業土木	受注者名	(株) 栗栖組	監理技術者	渡邊 正敏



表彰区分	所長表彰	事務所名	益田県土整備事務所	工事名	令和3年度 益田二期地区 舗装修繕工事			
部門	農林水産部門	工種	農業土木	受注者名	中国道路（株）	主任技術者	大畑 雄暉	



表彰区分	所長表彰	事務所名	益田県土整備事務所	工事名	令和3年度 真田地区 区画整理工事		
部門	農林水産部門	工種	農業土木	受注者名	開盛建設（株）	主任技術者	村上 大輔



表彰区分	所長表彰	事務所名	益田県土整備事務所	工事名	令和4年度 林地荒廃防止事業 木の口地区 工事			
部門	農林水産部門	工種	森林土木	受注者名	高橋建設(株)	主任技術者	中島 光弘	



表彰区分	所長表彰	事務所名	益田県土整備事務所	工事名	令和3年度 復旧治山事業 立戸地区(3工区) 工事		
部門	農林水産部門	工種	森林土木	受注者名	(有)村上建設	主任技術者	村上 誠



表彰区分	所長表彰	事務所名	益田県土整備事務所	工事名	令和3年度(補正) 林業専用道開設事業 銚子山線(第1工区) 工事		
部門	農林水産部門	工種	森林土木	受注者名	(有) 齊藤土建	主任技術者	新井 秀佑

国道 191 号外 8 線 道路防災カルテ点検(定期点検)業務その 1

1. 業務概要

本業務は、「落石に係る道路防災計画(島根県土木部)」に基づき、安定度調査業務において作成された防災カルテを用いて点検および修正を行う。また、各種変状を把握し、計画的・効率的な対策等に繋げ、落石等による災害発生を未然に防ぐことを目的とする。

2. 業務場所

島根県益田市内 9 路線

3. 契約工期

日：令和 4 年 5 月 25 日
至：令和 5 年 3 月 24 日

4. 業務数量

防災カルテによる点検 291 箇所
防災カルテ修正と報告書作成 291 箇所
緊急対応(落石点検) 4 箇所

5. 点検結果

5.1 点検対象

本業務では、「落石・崩壊」箇所を対象として作成されている既存の防災カルテを用いて、「要対策・カルテ対応」箇所 5 路線、「要対策」箇所 4 路線の点検を行った。また、旅行中に発生した落石について、緊急対応として軌跡、発生源を確認し、資料を作成し報告を行った。

5.2 変化箇所状況

291 箇所の点検を実施した結果、抜け落ち等の変化が認められた箇所は軽微なものを含めると 58 箇所であり、全体のごく一部であり、変化がない箇所は 233 箇所であった。

表 1 防災カルテ点検結果の変状箇所の状況

路線名	点検箇所数	緊急対策必要箇所	変化の比較的大きな箇所・比率		変化の軽微な箇所・比率	
			箇所数	比率(%)	箇所数	比率(%)
国道 191 号	28	1	2	7.1	4	14.3
(主)浜田美都線	10	0	0	0.0	1	10.0
(主)三隅美都線	18	0	0	0.0	4	22.2
(主)益田澄川線	50	0	0	0.0	3	6.0
(一)益田種三隅線	25	0	0	0.0	1	4.0
(一)美都匹見線	77	0	8	10.4	16	20.8
(一)波佐匹見線	61	0	4	6.6	8	13.1
(一)野地鎌手停車場線	7	0	0	0.0	0	0.0
(一)東仙道津田停車場線	15	0	1	6.7	5	33.3
合計	291	1	15	5.2	42	14.4

5.3 点検結果の整理(箇所:点検の区間に同じ、着目点:箇所内の調査対象物)

- ① 緊急対策必要箇所: 1 箇所
- ② 変化が比較的大きな箇所: 15 着目点
- ③ 点検取りやめ箇所: 12 着目点
- ④ 点検追加箇所: 16 着目点
- ⑤ 対策完了箇所: 10 箇所
- ⑥ 評価判定「要対策」から「カルテ対応」への変更箇所: 12 箇所



6. 緊急対応



写真 1 緊急対策が必要な箇所の報告例



写真 2 落石発生箇所の緊急現地確認及び資料整理例(部分)(美都匹見線 I3314A070 など計 4 箇所)

7. 品質を向上させるための取り組み

(1) 点検前の目合わせ

点検者の相違による結果のばらつき、および変状状況の把握と判定ミスをなくするため、現地で目合わせを行い、統一した適性評価の周知を図った。

(2) 既往の防災カルテの修正

防災カルテのスケッチに記載されている「着目すべき点(浮石・転石など)」の位置がずれていることが多々見受けられた。このため、今後の点検を踏まえて、正確箇所の修正を行った。

(3) 業務状況の把握

業務の進捗と点検箇所の状況を把握するためにチェックリストを作成し、業務状況の把握を行うとともに、工程管理に努めた。

8. 今後の課題

- ① 林内における危険箇所位置の明確化、
- ② 道路防災点検技術講習会受講者による判定、
- ③ 点検者の安全確保と第三者被害の防止、
- ④ 未確認範囲 1 箇所の把握と点検(追加)、
- ⑤ 除去可能な浮石・転石の抽出と現地立会(10 箇所確認し施工業者を含め三者で現地立会)、
- ⑥ 変化のない対象箇所の判定評価の見直し。



写真 2 点検前の目合わせ

写真 3 除去可能な浮石の立会

写真 4 未確認範囲の対応

表彰区分 所長表彰 事務所名 益田県土整備事務所 工事名 国道 191 号外 8 線 道路防災カルテ点検(定期点検)業務 その 1

部門 地質調査・測量・調査 工種 受注者名 (株)大建コンサルタント 管理技術者 藤井 浩人

1. 業務概要

- (1) 業務名 : 津和野川 防災交付金(総流防)工事 測量設計業務(その2)
- (2) 業務場所 : 鳥根県鹿足郡津和野町高畠外地内
- (3) 業務期間 : 令和4年5月26日～令和5年3月17日
- (4) 実施機関 : 株式会社 大隆設計

(管理技術者) 福島隆志、(主任技術者) 長島俊治、(照査技術者) 大國明義
(担当技術者) 黒崎文江、岡田悠太、渡部まどか、三木康広、有馬嘉樹

(5) 業務目的及び作業内容

【目的①】津和野川7k850より上流右岸の水田は、令和4年度より圃場整備事業に着手し令和7年度に実施設計予定である。

一方、当該区間は河川改修範囲であり、右岸側へ拡張予定である。

本業務は、圃場整備区間に隣接する7k900～8k600区間の測量及び河道計画を作成し、将来的な河川区域を圃場整備側へ提示することを目的とした。

- ・ 路線測量 L=0.8km
- ・ 現地測量 A 0.067km²
- ・ 護岸設計 L=0.7km (片岸設計)

【目的②】津和野川防災安全交付金事業(5k200～8k900)の事業評価を行うため、氾濫解析、便益算定及び費用算定等を行い費用対効果(B/C)を算定した。

- ・ 費用対効果算定 1式

【目的③】戦橋架替工事(6k839付近)を実施するにあたり、隣接する家屋の地盤変動影響調査(事前調査及び水準測量)を実施した。

- ・ 建物事前調査 木造建物 A N=2棟
- ・ 水準測量 N=34点



図1. 業務位置図

2. 護岸設計概要

2.1 基本条件 (高津川水系上流荒川整備計画(平成26年3月)より)

- ・ 計画規模 : C(平成25年7月豪雨相当(1/10年確率規模))
- ・ 流域面積 : A=57.2k㎡(田平川合流前)
- ・ 計画高水流量 : Q=430 m³/s(田平川合流前)

2.2 現況河道の把握

- ・ 不等流計算を実施し、本業務区間の流下断面不足区間を把握した。
- ・ 縦、横断測量成果より、現況河床勾配 $\alpha=1/270$ を確認した。

2.3 河道計画

2.3.1 計画高水位の設定

津和野川の整備計画高水流量は10k000であり、本業務区間から上流端まで計画高水流量が同じであることから、上流端まで反折して計画高水位を設定した。検討の結果、計画高水位を現況地盤高相当に設定し、“標準河道”として河道計画を作成した。

2.3.2 縦断、横断計画

現況の縦断形を踏襲し、計画河床勾配 $\alpha=1/250$ に設定した。次に下流側(設計済み区間)と整合を図り、かつ計画高水流量を安全に流すことが出来る横断形とした。(図2参照。)

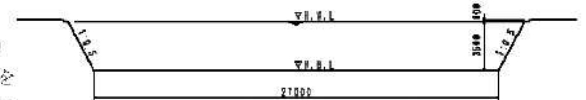


図2. 計画断面

2.3.3 平面計画 (図3参照)

現地踏査結果等から、4つのコントロールポイントを設定し、これらを満足する中心線を決定した。

2.4 申し送り事項

河川用地を確保するためには、背後の圃場や排水路の高さに合わせた計画を行う必要がある。しかしながら、これらは、圃場整備側で決定すべき事項であることから本成員では基本的な河川用地設定の考え方について取りまとめ、圃場整備側への申し送り事項とした。

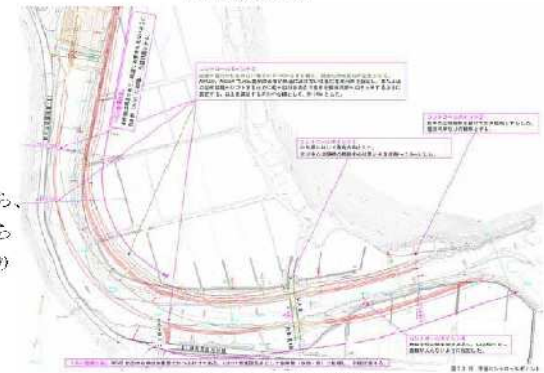


図3. 平面計画検討図

3. 費用対効果算定の概要

3.1 氾濫解析

対象は、交付金事業区間である5k200～8k900(名賀川合流前～小床橋)とした。ただし、小床橋上流も下流の整備による治水効果を受けるため、上流端(10k000)まで氾濫解析を行い、便益計算に考慮した。

津和野川は、氾濫形態が“流下型氾濫”なので、“不等流モデル”にて氾濫シミュレーションを行った。

3.2 費用対効果

- ・ 浸水想定区域内の資産数量を計上し、「各種資産評価単価及びデフレクター R4.3改正」における評価額を乗じて資産額を算定した。なお、10年間の事業進捗想定を踏まえ、検討対象区間を鳥井橋(7k800付近)で分け、上下流で算定するものとした。
- ・ 対象区間の概算事業費を算定した。なお、工事完了区間は、発注者提供による実績事業費とした。
- ・ 鳥井橋上下流でそれぞれ費用対効果(B/C)を算定した。算定の結果、上流、下流共にB/C ≥ 1.0 であった。

4. 地盤変動影響調査概要

4.1 事前調査

戦橋に隣接する、木造平家建て日本瓦葺きり用住宅1棟、木造平家建て日本瓦葺き倉庫1棟に対し、工事前の土留状況、レベルング状況及び柱の傾斜傾向の調査を行った。

4.2 水準測量

工事着手前の建物及び敷地内の擁壁等の高さを観測した。

5. 本業務の提案事項

- ① 計画高水位及び計画河床の設定において、本業務区間だけでなく整備計画上流端まで見据えて検討した。
- ② 平面線形の出入橋付近については、戦橋の設計実績を踏まえ、出入橋の架替計画及び渠道への取付計画(主に縦断線形)を考慮して、計画の中心線位置を決定した。(図3に示すコントロールポイントC)
- ③ 地盤変動影響調査において、事前調査結果から、現況の損傷に対する分析を行うと共に施工時の留意事項を提示した。

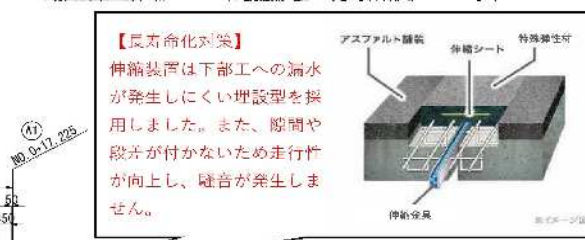
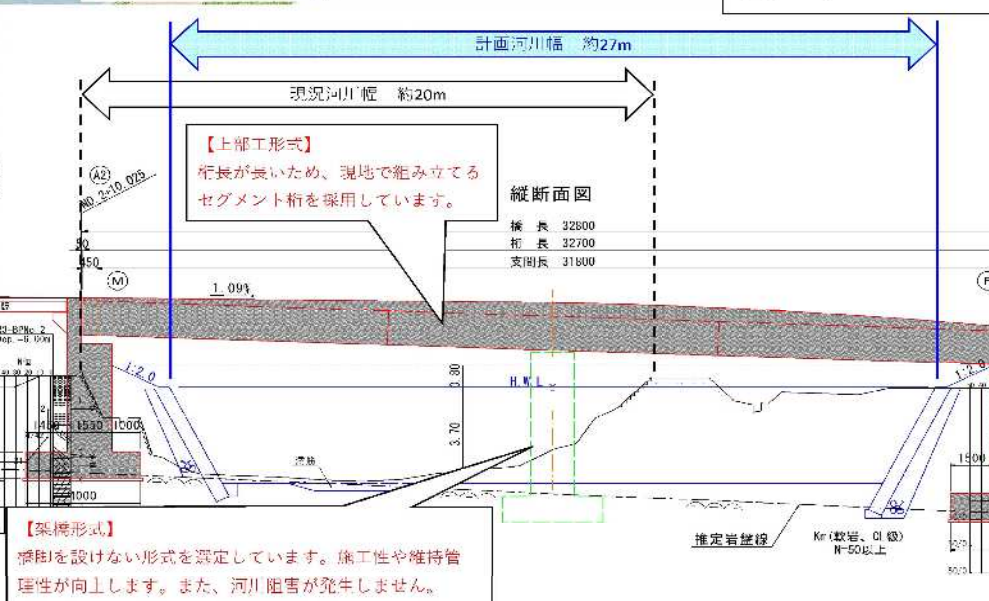
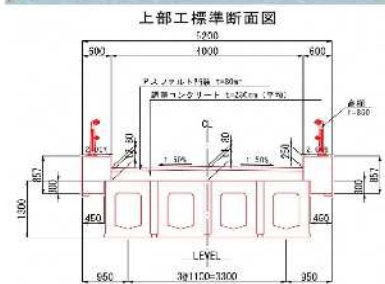
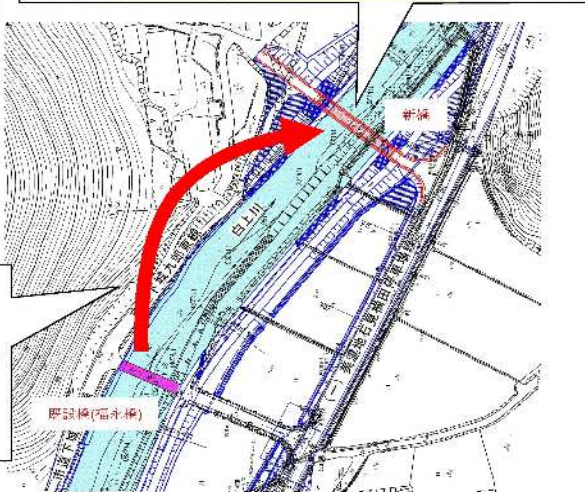
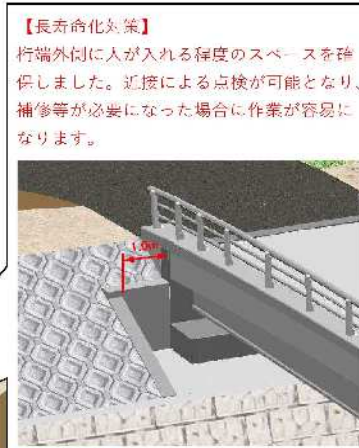
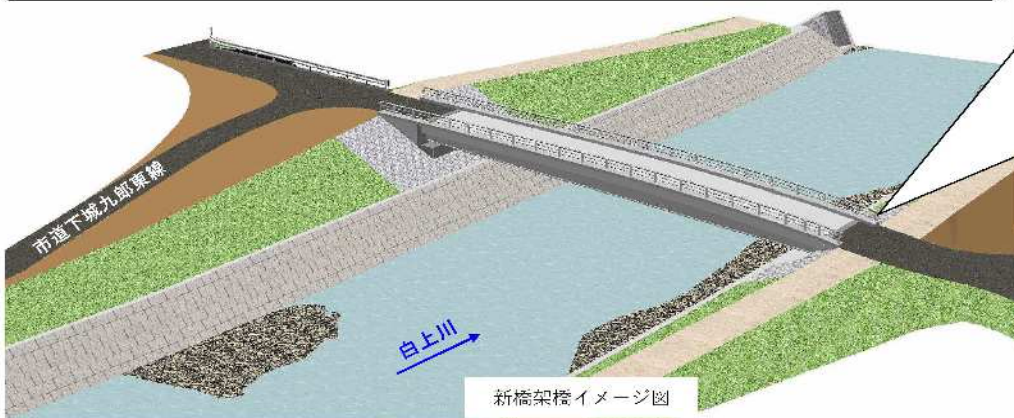
表彰区分	所長表彰	事務所名	益田県土整備事務所	工事名	津和野川 防災交付金(総流防)工事 測量設計業務(その2)			
部門	土木設計	工種		受注者名	(株)大隆設計		管理技術者	福島 隆志

令和3年度 白上川防災安全交付金(総流防)工事橋梁詳細設計業務 業務概要

【業務の概要】(工期: 令和3年10月27日~令和4年6月30日)

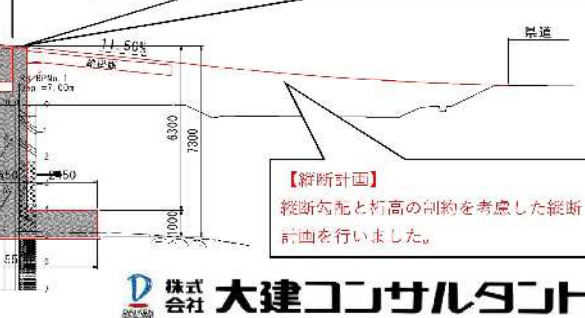
本業務は、益田町美濃地町に架橋するコンクリート橋の詳細設計業務です。現在進められている白上川河川改修事業に伴い、既設橋梁の架け替えとして詳細設計を行いました。また、橋梁設計に必要な地形や地層状況を確認するため、測量および地質調査を実施しています。

当該地では白上川の氾濫によって幾度となく浸水等の災害に見舞われており、平成22年度から河川改修事業が進められています。河川改修は既存河川断面の拡大により行われるため、現在架橋されている福永橋は架け替えが必要となります。当業務では架け替えに併せて、道路としての利便性の向上・橋の耐久性や長寿命化等を考慮した設計を行っています。



設計条件

道路規格	第3種第2級
設計速度	V=20km/h
河川名	1級河川 白上川(砂防指定なし)
橋長	L=32,800m
有効幅員	B=4.0m(計画幅員+0.5m)
橋断面形	I=11.500m~1.092m(上り勾配)
橋形式	A桁橋
上部工形式	ポストテンション方式PC材料中空床版桁橋(プレキャストセグメント)
下部工形式	橋台式橋台
下部工事基礎形式	直接基礎(泥岩・チャート(軟弱区画))



株式会社 大建コンサルタント

表彰区分	所長表彰	事務所名	益田県土整備事務所	工事名	白上川 防災安全交付金(総流防)工事 橋梁詳細設計業務
部門	土木設計	工種	受注者名	(株)大建コンサルタント	管理技術者 三浦 洋治



【表彰理由】

長年にわたり県管理道路の除雪業務に携わった、その功績は顕著である。
 主な実施路線である(主)萩津和野線は津和野町中心部へアクセスする主要路線であり、地域住民にとって重要な生活道路である。
 また、本路線は太鼓谷稲成神社へ通じ、毎年初詣客が多く訪れるため、年末年始にも緊急対応できる除雪体制が必要となっている。
 この除雪業務を10年以上継続し、冬期のライフラインを支えていることは表彰に値する。

表彰区分	所長表彰	事務所名	益田県土整備事務所		工事名	県管理道路除雪業務		
部門	地域貢献	工種	除雪業務	受注者名	(有)山田土木		代表取締役	山田 實



【表彰理由】

長年にわたり県管理道路の維持管理業務に携わった、その功績は顕著である。
 昼夜を問わない緊急対応の要請にも迅速かつ的確に対応され、災害等の発生を未然に防止することができた。
 また、地元調整を適切かつ円滑に行うことで速やかに業務を遂行し、地域住民の民生安定に寄与したことは表彰に値する。

表彰区分	所長表彰	事務所名	益田県土整備事務所		工事名	県管理道路維持管理業務		
部門	地域貢献	工種	維持管理業務	受注者名	日発建設(有)		代表取締役	倉谷 頼憲